

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	多額 の経 費対 象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	元年度決算 額[千円]	2年度決算 額[千円]	総合評 価	①評価の理由 ②令和3年度に取組む改革・改善内容	3年度予算 額[千円]
1	一般	8	4	1	利便性の高い公共交通体系の充実	公共交通機関の整備促進に要する経費	都市計画課			①成田空港機能の充実を図り、東京都心と成田空港とのアクセスを改善し航空利用者の利便性を確保するとともに、千葉県北西部等の交通利便性を向上させるため補助等を行うもの。 ②今後も市民が利用しやすい公共交通のあり方について検討していく必要がある。	146	550	1終了	①協定に基づき、令和2年度の決算で終了した。 ②-	0
2	一般	8	4	1	利便性の高い公共交通体系の充実	公共交通事業者等特別支援金に要する経費	都市計画課	○		①新型コロナウイルスの影響を踏まえ、感染拡大防止策及び事業継続を目的に助成する。 ②新型コロナウイルスの影響が大きいため、引き続き助成を行う必要がある。	0	7,356	6精査・検証	①新型コロナウイルスの影響が大きいため、引き続き助成を行う必要がある。 ②新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が成立した場合、交付金を活用して助成を行う。	0
3	一般	8	4	1	利便性の高い公共交通体系の充実	コミュニティバス運行助成事業	都市計画課	○	○	①市内の交通不便地区における課題解消や公共施設等の使用促進を図るため、運行事業者への一部補助などにより公共交通網の充実を図るもの。 ②運行ルート、バス停留所の改善要望や高齢者等の移動確保等、コミュニティバス利用者の利便性について検討する必要がある。	48,410	46,372	6精査・検証	①超高齢社会への対応として、地域活動や生涯学習などの参加からコミュニティバスの運行は必要不可欠であるため。 ②令和3年度でコミュニティバス運行事業者との協定が満了となるため、運行検討委員会による今後のコミュニティバスの運行形態を検討する。	56,647
4	一般	8	4	3	利便性の高い公共交通体系の充実	新京成線連続立体交差事業	道路河川整備課	○	○	①本市の東西を走る新京成線を高架化し、踏切遮断による交通渋滞や市街地の分断等を解消する目的で、県が事業主体となり事業を施行する。 ②関連側道、交差道路と既存道路との取付の安全対策が必要である。	399,272	263,039	7拡充	①市街地の分断解消に向け、早期完成が必要であるため。 ②早期に関連側道等の道路工事を進める。	506,015